

チーム 袖ヶ浦

公民館報/ チーム袖ヶ浦

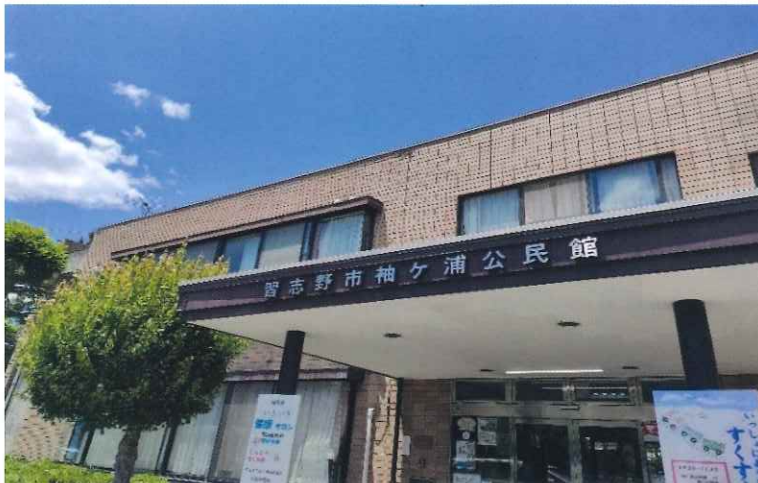
発行/ 袖ヶ浦公民館

指定管理者 株式会社オーエンス

習志野市袖ヶ浦2丁目5番1号

TEL 047-451-6776 FAX 047-451-6284

HP <https://www.narashino-kominkan.jp/sodegaura-kominkan/>



みどりのカーテン「ゴーヤ」
大きく育ちますように!



今年度、袖ヶ浦公民館長に就任した鈴木昭仁でございます。新たにスタッフを2名迎え、『チーム袖ヶ浦』が動き始め、早や3か月がたとうとしています。

はじめに、着任者をします。

館長補佐兼生涯学習相談員 内山 晃男 (うちやま あきお)

社会教育士 寿学級担当 池田 小百合 (いけだ さゆり)

どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて令和元年度より続いた新型コロナウイルス感染防止対策は、5月の連休明けに感染症法上の位置付けが5類に移行し、これに伴い公民館では部屋の消毒をはじめ利用人数制限などの予防策を廃止しました。しかしながら手洗いと換気については引き続きお願いしております。これまで利用者の皆さまにおかれましては防止策にご理解、ご協力いただき深謝申し上げます。

コロナ下での公民館事業を振り返ると、今後の課題として思い至ったことのひとつに地域行事の継承と発展に関わることがあげられます。それは地域行事を守り後世に伝えていくためには、内容の見直しを図るとともに、現在の伝承者や支援者に代わる後継者の育成が必要だということ。地域住人や学校、公民館などが共通理解を持つことも欠かせません。紙上を通じて広くお伝えし、皆さまの知見と力を賜りたく存じます。

今後も、当館が地域に開かれた空間として多くの人に必要とされるよう、職員一同、努めてまいります。公民館での出会いがより一層意義のあるものになることを願っております。

袖ヶ浦公民館長 鈴木 昭仁

令和5年度公民館講座が始まりました!



育児講座

5月19日から育児講座が始まりました。参加者は生後5か月から11か月までの親子10組です。

自己紹介では、お子さんの名前の由来を教えてください、皆さん一人ひとりのお子さんへの思いが伝わる話しが聞けました。

1回目は絵本「いないいないばあ」の読み聞かせに挑戦!お子さんの可愛い笑い声が部屋中に響いていました。

6月23日まで全6回の講座を通して、親子でたくさん笑顔になって欲しいです。



しぜんくらぶ

しぜんくらぶは、親子で身近な生き物や植物について学びます。

自然や生き物に触れることで、興味関心や思いやりについて考えるきっかけ作りを心掛けています。

初回は、カブトムシの幼虫の観察と飼育方法について学びました。

観察では五感(目・鼻・耳・口・手)を使って感じ取り、観察ノートに特徴を書いていきます。子どもたちに幼虫について聞いてみると、「幼虫も可愛い」、「カブトムシになるのが楽しみ」という感想を聞くことができました。



はじめての園芸講座

はじめての園芸講座は、園芸にはじめて取り組む方向けの講座です。

今年度は「夏野菜を畑で育てよう」というテーマのもと、鷺沼台の畑地で講座を行っています。

地域のスペシャリストから野菜の育て方やお世話のポイントについて学びます。講師は畑の管理をしている工藤さんと村上さんです。20年以上畑で野菜を育てているそうです。

7月下旬まで収穫を楽しみにお世話を頑張りましょう!





身近な草と木の観察講座

身近な草と木の観察講座の講師は楠元繁先生です。

毎回、採取した草花を提示され、その解説から始まります。自作教材にはさまざまな植物写真のほか、「花が咲き、花が散り、実を結ぶ。実は時を重ねて育って行く。いつかは熟れて二世となる。」といった味わい深い言葉も添えられています。

講座の趣旨は「観察を通して地球環境と私たちの生活にどういったつながりがあるかを認識すること」です。



1回目のテーマ
「草ですか？
木ですか？」

寿学級

寿学級は、健やかな生活のために学習や趣味・レクリエーションを通して、健康維持と親睦を図り、社会参加を促します。

今年度は31名でスタートしました。5月はゲートボールに挑戦しました。6月は、堀切菖蒲園に行き季節を感じ、市民ホールで寄席を見ました。

今後は、3月に開催される6館合同寿まつりの練習も始まります。

60歳以上の方、いつからでも参加できます！

● 今後の公民館講座・事業のご案内 ●

講座・事業名	内容	期間	対象
1歳児親子ルーム	親子で季節の工作、体操、手遊びなどを通して、仲間づくりをしましょう	10月～11月 全6回	1歳児親子 10組
幼児家庭教育学級	人形劇、絵本、体操、3歳児の心とからだ、歯や栄養 防犯対策などを通して、仲間づくりをしましょう	10月～12月 全11回	3歳児親子 10組
*子ども講座	目指せ!化石ハンター、ニュースポーツラリー 備長炭で電池を作ろう 紙すき体験、習志野市議会探検隊	夏休み 7月～8月	小学1～6年生
*子ども映画会	夏休みに公民館で映画を観ましょう	7月22日(土) 午前10時～12時	4～5歳児 小学1～6年生
大人の教養講座	ラグビーをもっと知りたい!チョコレートの世界へよ うこそ、寄せ植え、クリスマスコンサート、郷土料理	8月～2月	成人
市民文化祭	サークルの一年間の活動成果として、展示、発表の 開催	9月29日(金) ～10月1日(日)	どなたでも

募集などの詳細は、広報習志野、袖ヶ浦公民館ホームページをご覧ください。

*講座については、地域のこども園、小学校にご案内のちらしを配布します。





公民館職員リレーコラム

「わたしの袖ヶ浦発見！」

第一走者 内山晃男

マッコウクジラの「淀ちゃん」が大阪の淀川に迷い込んだのは、2023(令和5)年1月9日でした。その時は、多くの人が見物に来て話題になりました。今から120年以上前に、ここ袖ヶ浦でも大事件がありました。1895(明治28)年頃、鷺沼浦(現在の袖ヶ浦5丁目辺り)に体長20m超のクジラが上がりました。当時は、多くの人が見物料を払ってでもクジラを見に来ました。「クジラー頭七浦を潤す」という言葉がありますが、クジラー頭を捕獲すると、周辺の七つの浦に利益をもたらすと言われていました。鷺沼浦に上がったクジラは浅草の花屋敷に売られ、そのお金で津田沼小学校の分校が鷺沼にできたそうです。そのことが『習志野の民話』の中に「クジラが上がった話」として掲載されています。

ここ袖ヶ浦がその昔は海だったことは、その地名の意味からも分かります。袖ヶ浦とは、袖のようにゆるやかに湾曲した海岸の形から付けられたと言われていました。そのことを袖ヶ浦西近隣公園にある全長5mほどのクジラが、静かに物語ってくれています。袖ヶ浦公民館にお越しの際は、ぜひ袖ヶ浦西近隣公園(通称クジラ公園)にも訪れてみてください。袖ヶ浦の歴史の一端に触れることができます。



新しいスタッフの紹介

温故知新(故きを温ねて新しきを知る)

4月から袖ヶ浦公民館で勤務させていただいております。小さなお子様さんからご高齢の方々まで、来館者の方々が様々な年齢層に亘っていることを初めて知りました。

先日、来館者の方から『習志野かるた』や『習志野の民話』作成の貴重なお話を聞くことができました。私は、袖ヶ浦公民館の歴史の一端を知り、とてもうれしくなりました。歴史を踏まえ未来へと繋がるように、来館者の皆様の声に耳を傾けてまいります。来館者の皆様が楽しく学び、その活動がより一層充実できるように努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

館長補佐兼生涯学習相談員 内山晃男

谷津公民館から異動してまいりました。

袖ヶ浦公民館に着任の日、ロビーの窓から見える満開の桜に迎えていただきました。公民館の周りの公園で、地域と公民館が一緒につくり、開催する事業があることを知りました。とても楽しみにしています。

今回、公民館報第125号を編集するにあたり、第1号(昭和60年7月発行)を読みました。手書きで書かれた「袖公だより」の文字に温かさを感じました。ご来館者の皆さまが、温かい気持ちで学び、活動ができますよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

寿学級担当 池田小百合